

株式会社タカラトミー
2018年3月期 第2四半期
決算説明会

2017年11月10日
証券コード:7867

2018年3月期 第2四半期 決算概要

2017年11月10日

株式会社タカラトミー
常務執行役員連結管理本部長
沓澤 浩也

連結損益計算書

(2018年3月期第2四半期累計期間)

単位: 億円

	当第2四半期累計期間 (2017/4-9)			前年同期 (2016/4-9)	増減
	実績	2017年10月27日修正	期初見通し	実績	
売上高	879	875	800	766	+113
売上原価	527	—	—	481	+46
売上総利益	352	—	—	285	+67
営業利益	65	65	30	25	+40
営業利益率	7.5%	7.4%	3.8%	3.4%	+4.1%
EBITDA	111	—	—	66	+45
経常利益	64	63	28	16	+48
親会社株主に帰属する四半期純利益	42	41	21	5	+37

※ 金額は表示単位未満切捨て

- ◆ 売上高
国内及びアジア市場での玩具販売が好調に推移したことに加え、「トランسفォーマー」「ベイブレードバースト」の海外向け輸出の伸長により増加
- ◆ 営業利益
売上高増加に伴う売上総利益の増加に加えて、海外ビジネスの収益性が改善したことにより増加
- ◆ 経常利益
営業利益の大幅な伸長に加え、前期発生した営業外費用における為替差損の減少に伴い増加
- ◆ 親会社株主に帰属する四半期純利益
経常利益の大幅な伸長に伴い増加

販管費明細 (2018年3月期第2四半期累計期間)



単位:億円

	当第2四半期累計期間 (2017/4-9)	前年同期 (2016/4-9)	増減
販管費合計	286	259	+27
人件費	96	89	+7
広告宣伝費	74	59	+15
研究開発費	16	14	+2
物流費	32	32	+0.2
TI買収に伴う のれん等償却費	10	9	+1
	\$ 9.3MM	\$ 9.4MM	-0.1

※金額は表示単位未満切捨て

〈期中平均 ドル換算レート〉
当期 111.06円 前期105.28円

◆ 販管費合計

- ・ 売上拡大を目的として、マーケティング強化に伴い広告宣伝費を増加

地域別売上高

(2018年3月期第2四半期累計期間)

単位:億円

地域	当第2四半期累計期間 (2017/4-9)	前年同期 (2016/4-9)	増減
日本	534	488	+46
北米	172	160	+12
欧州	63	46	+17
オセアニア	17	11	+6
アジア	78	52	+26
その他	14	7	+7
合計	879	766	+113
海外売上比率	39.3%	36.3%	+3.0%

※金額は表示単位未満切捨て

- ◆ 日本
「定番商品」「新商品」「BIG BET(最重点商品)」の各商品群の販売が好調に推移
- ◆ 北米
「ポケモン」関連玩具に加え「トランスフォーマー」、「ベイブレードバースト」が伸長し売上高が増加
- ◆ 欧州
「ポケモン」関連玩具や「トランスフォーマー」、「ベイブレードバースト」の販売が好調に推移したことでの売上高が増加
- ◆ オセアニア
「ポケモン」のぬいぐるみをはじめとした関連商品の販売が好調に推移したことなどにより売上高が増加
- ◆ アジア
「ベイブレードバースト」や「ポケモン」関連玩具の販売が伸長したことに加え「トランスフォーマー」関連玩具の出荷が好調に推移し売上高が増加

特別損失のポイント

(2018年3月期第2四半期累計期間)



■ 主要変動項目

単位:億円

	当第2四半期累計期間 (2017/4-9)	前年同期 (2016/4-9)	増減
特別損失	4	5	-1
貸倒引当金繰入	3	-	+3
減損損失	0	5	-5

※金額は表示単位未満切捨て

◆ 特別損失

米国小売企業における米国及びカナダでの各国破産法に基づく再生手続申請にともない、貸倒引当金繰入額385百万円を特別損失として計上

連結貸借対照表のポイント (2018年3月期第2四半期累計期間)

■ 主要変動項目

単位:億円

科目	当第2四半期累計期間 (2017/4-9)	前年同期 (2016/4-9)	増減
たな卸資産	192	193	-1
日本	97	138	-41
海外	110	97	+13
未実現利益消去	-16	-42	+26

有利子負債合計	515	677	-162
借入金	415	577	-162
社債	100	100	-

※金額は表示単位未満切捨て

◆ たな卸資産

海外子会社 TOMY International 前期比 +15億円



<期末 ドル換算レート> 当期 112.73円 前期101.12円		当第2四半期累計期間 (2017/4-9)	前年同期 (2016/4-9)	増減
TOMY International のれん残高	外貨(\$百万米ドル)	175	188	-13
	円貨(億円)	198	191	+7
TOMY International 無形固定資産残高	外貨(\$百万米ドル)	99	104	-5
	円貨(億円)	111	106	+5

2018年3月期 上期ビジネスレビュー

Business Review

2017年11月10日
代表取締役副社長 小島一洋



上期レビュー ポイント

- ✓ 営業利益 過去最高[※]を達成
- ✓ 国内市場 ヒット商品多数創出
- ✓ 新規ビジネスにチャレンジ
コンテンツ制作、アプリ事業



上期トピックス

日本おもちゃ大賞2017 大賞＆特別賞 受賞



© 2017 Gullane (Thomas) Limited.
© 2017 HIT Entertainment Limited.

空港ガチャ インバウンド向けに展開



リカちゃん 誕生50周年記念 広告起用、キャンペーン、コラボ商品続々登場



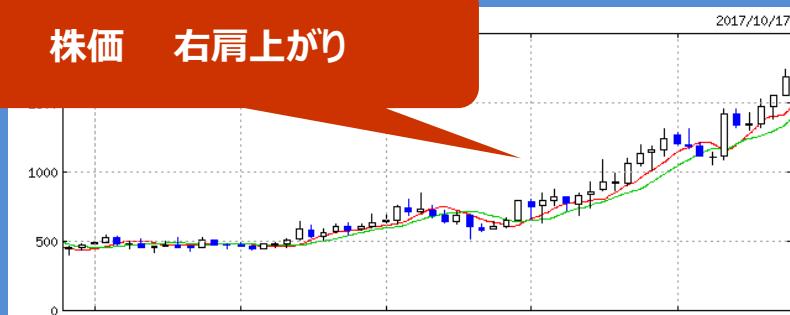
CSR活動の一環として葛飾区との 地域活性のための提携締結



「プロが選んだ今年のクリスマスおも ちゃ」2部門で1位獲得※



株価 右肩上がり



※ 2017年9月開催のクリスマスおもちゃ見本市実行委員会が主催する「クリスマスおもちゃ見本市2017」



地域別レビュー

(数値は地域別セグメント営業利益)

JAPAN



前年同期比 +30億円

- ✓ 定番商品、ウーモ・ウーニーズ等の新規商品、ベイブレードの販売好調
- ✓ 「トランスフォーマー」「ベイブレード」の海外向け輸出好調



前年同期比 +4億円

- ✓ 「ベイブレード」は、特に韓国・香港・台湾で好調
- ✓ 「ポケモン」関連玩具の販売伸長

AMERICA



EUROPE



前年同期比 +3億円*

- ✓ 構造改革を推進中
- ✓ 利益改善が進む
- ✓ 「ポケモン」関連玩具の人気継続

*地域別セグメントのアメリカ、欧州、オセアニアの単純合算値



商品別レビュー <定番商品>

定番商品の玩具販売拡大とキャラクター化を推進

トミカ

「ドライブヘッド」4月 トミカ初、
タカラトミー原作アニメ放送スタート(TBS
系全国28局ネット)

アニメのほか、玩具や玩具周辺商品の
販売、雑誌掲載ほかメディアミックス展
開



© TOMY/ドライブヘッド・TBS

プラレール

「シンカリオン」2018年 アニメ放
送決定 (TBS系全国28局ネット)

2015年3月から展開するタカラトミーが
原作に加わるキャラクターコンテンツ。
これまでも玩具化、雑誌掲載、ネットに
によるアニメーション映像を配信中



©プロジェクトシンカリオン・JR-HECWK/超進化研究所・TBS

リカちゃん

誕生50周年、販売数6,000万体以上

関連玩具引き続き販売好調

タレントとしての広告、キャンペーンに起
用。コラボレーション商品は400種類超
え拡大中



Recolorful
リカちゃん 50th



商品別レビュー <新規商品>

■うまれて！ウーモシリーズ



■ COZMO

COZMO



■ クッキングトイ

ビッグストリーム
そうめんスライダー エクストラジャンボ



究極の T K G (たまごかけごはん)



■ ウーニーズ

夏休み商戦
売れ切れ店続出！



商品別レビュー <BIG BET (最重点商品)>

■ベイブレードバースト



■スナックワールド



■トランスフォーマー





TOMY International 構造改革を推進

(数値は地域別セグメント営業利益)

2016年度 第2四半期累計 営業利益	
アメリカズ	1.8億円
欧州	△3.1億円
オセアニア	△0.5億円



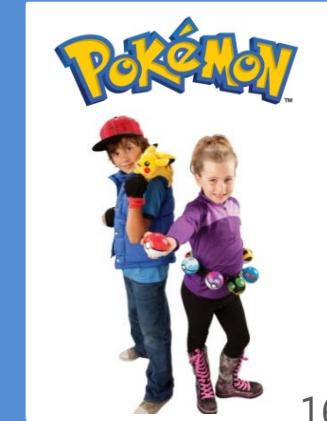
2017年度 第2四半期累計 営業利益	
1.3億円	安定して黒字化
△0.4億円	営業利益改善
0.2億円	営業利益改善

- ✓ 収益力の改善に注力
- ✓ 事業の選択と集中を継続
 - ・ 主力ブランドに投資、活動を集中
- ✓ 販管費 削減



TOMY International 構造改革を推進

- ✓ ベビー・プリスクール商品 オリジナル I Pに注力
Lamaze、Boon、Toomies、JJ Cole、John Deereに集中
- ✓ 日本からの商品開発サポート
2018年度 新商品開発 進行中
- ✓ 好調なポケモン関連商品を展開





新たな成長に向けたチャレンジ

✓ 2017年2月 資金調達62億円

自己株式処分・株式の売出し

コンテンツの制作出資：10億円

■ ドライブヘッド



■ シンカリオン



■ ミラクルちゅーんず



スマホアプリ事業強化：14億円

■ ZOIDS FIELD OF REBELLION



■ WAR OF BRAINS





タカラトミー2017 クリスマスおすすめ商品

プロが選ぶ 女の子向け部門1位！



ウーニーズ スタンダードセット

プロが選ぶ バラエティ部門1位！



うまれて！ウーモシリーズ

感情表現豊かなAIロボット



CO Z MO (コズモ)

小学生男児を中心に大ヒット！



無限ベイスタジアムDXセット

大人気アニメでも活躍！



ドライブヘッド01
MKIIサイクロンインターフセプター

プラレール初のホームドア搭載駅



今日からぼくが駅長さん！
ガチャッ！アクションステーション

ライトを当てるだけで髪の色がチェンジ



キラチェン リカちゃん

人気のジャラと完全運動



スナックワールド フェアリーポン



業績予想・配当の修正

✓ 過去最高*の営業利益達成の見通し

単位：億円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する純利益	1株当たり純利益
前回予想 (5月10日発表)	1,700	80	80	55	63円35銭
今回修正予想 (10月27日発表)	1,770	115	115	70	74.67
(ご参考) 前期実績	1,676	77	78	53	61円88銭

✓ 2012年3月期水準に増配

	第2四半期期末	期 末	合 計
前回予想 (5月10日発表)	5円	5円	10円
今回修正予想 (10月27日発表)	7円	7円	14円
(ご参考) 前期実績	5円	5円	10円

2016年度

2017年度

2018年度

2019年度

国内

アジア

海外

カミワザ・ワンダ

僕のヒーローアカデミア

スター・ウォーズ

TAKARA
TOMY
GROUP
約20
大型
コンテンツ

ペイブレードバースト

スナックワールド

トランسفォーマー
ムービー5

アイドル×戦士
ミラクルちゅーんず！

ドライブヘッド

NEW!
シンカリオン

2018年度

トランسفォーマー
ムービー6

2018年アニメ放送決定!!

スター・ウォーズ

大型
映画コンテンツ

新規
コンテンツ

新規事業
アプリなど

2019年度

トランسفォーマー
ムービー7

スター・ウォーズ

大型
映画コンテンツ

新規
コンテンツ



新体制について

- ✓ 2018年1月1日新体制スタート
代表取締役会長 CEO 富山幹太郎
代表取締役社長 COO 小島一洋
専務取締役 事業統括本部長 鴻巣 崇
常務執行役員 CFO 連結管理本部長 齋澤浩也
- ✓ メイ社長より辞任申し出
改革に道筋をつけることで役割を達成



G R O U P

本資料には、タカラトミーの現在の見通し、目標、計画、戦略など将来に関する記述が含まれておりますが、これらは現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または事業展開を確約したり、保障するものではありません。